

2026年3月3日(火)、第4回学校運営協議会が望洋台中学校で行われました。今年度最後の協議会では、1年を振り返り成果と課題について報告・確認が行われました。また、次年度の取組についても意見が交わされました。

本協議会が地域と学校をつなぎ、子ども達が地域との関わりの中で成長できる環境をなご一層充実させて参ります



『こどもまんなか望洋台』望洋台地区学校運営協議会だより

2026年3月4日



本年度の成果と 学校の様子



生徒の自己肯定感が向上：
中学校で「自分の良さ」を実感する生徒が前期比7%増加しました。

中



支援員導入で教育の質が向上：
ICT支援員の活用により教職員の連携時間が増え、子供と向き合う時間が増加。

小



実践的な安全管理の成果：
過去の引き渡し訓練が、実際のクマ出没時の迅速な対応に役立ちました。

学校評価と課題の可視化

項目	現状と成果	今後の課題
算数・数学	★ 小中ともに達成感は向上	⇒ 基礎学力の定着に向けた継続指導
読書活動	📖 ボランティアの読み聞かせ継続	☹️ 読書離れ(肯定回答66.8%)への対策
地域連携	🤝 防災訓練等の有効性を確認	41%? 地域体験への参加率向上(現在41%)



次年度の重点取組 と地域連携



小中一貫で育む「自立」と「協働」
小学校の「想像・行動」を中学校の「協働・自律」へと繋げ、一貫して育てます。



地域参加を促す「ボランティアカード」：
生徒の地域活動を応援するため、スタンプ制などの参加促進策を導入検討中。



小中合同の防災訓練を実施：
10月末、地域と一体となった避難訓練を小中合同で計画しています。